

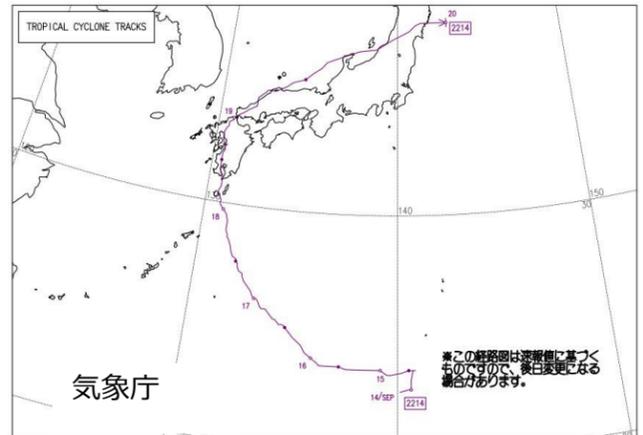
## 2022 年台風 14 号 速報

2022年9月18-19日にかけて台風14号が九州に上陸し各地に被害を出しました。

気象庁のデータによると人吉で最低気圧を観測したのは18日の21時で、943hpと相当気圧が下がりました。人吉の降水量は18-19日で261mm、最大時間雨量は30mmでした。あさぎり町の上観測所の降水量はさらに大きく、18-19日で342mm、最大時間雨量は43.5mmという豪雨が観測されました。両観測所とも最大瞬間風速30m/sを超える風速を観測しました。

また、あさぎり町の幸野溝、川辺川などが氾濫し被害が発生しましたが、大きな災害にはなりませんでした。

川辺川の相良村の雨宮神社付近の水田が被害を受けました。水害防備林が欠損している場所から洪水が流入したと思われます。熊本大学の皆川チームが水害防備林の効果の調査に入りました。(水害防備林：河川沿いに樹木や竹を植え、氾濫流速の低減、ゴミや土砂の流入を抑制するなどの減災機能を有する樹林帯のこと)



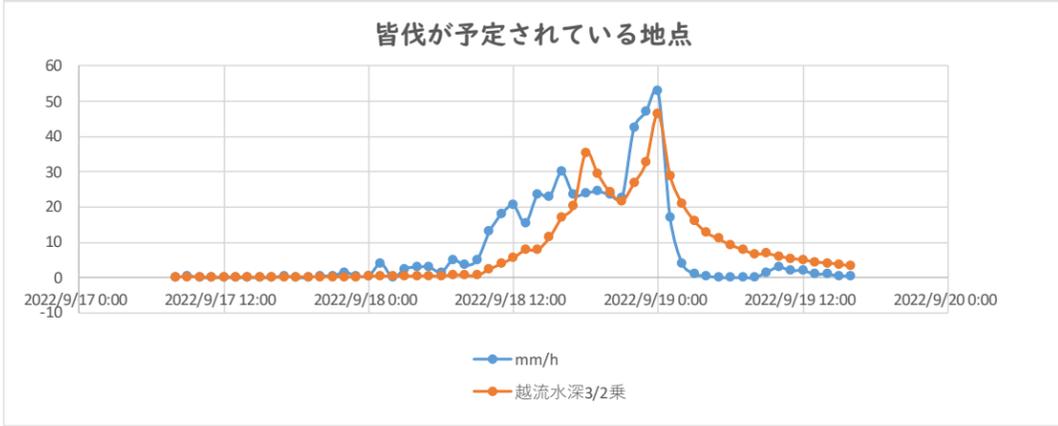
### 今日のスクープ 観測地点ですごい雨！

あさぎり町の町有林の観測施設大雨でも稼働、土砂対策は課題



ここで水位が下がってもいいはずだけれど下がっていないので、このあたりから土砂が流入し始めた可能性がある

土砂がたまっているので水位が下がらない



今年、間伐と皆伐がされる予定地に、沢からの流出流量の観測施設を2か所設置していますが、なんとか観測できました。

2か所設置していて、皆伐が予定されている1か所は沢沿いの土砂崩壊があったため、観測施設に土砂がたまりました。

総雨量は470mm、時間最大雨量は53mmと非常に大きな豪雨となりました。

図表に間伐がされている地点と皆伐が予定されている地点の時間雨量(青線)と越流水深と想定される値の3/2乗(赤線)を示している。間伐予定地点の沢の流域面積が大きいためグラフの大きさを併せるために3で割った値を示している。赤線は雨量と同じ次元を持っていると考えてよいが、絶対値は未確定なので、グラフの形状のみを見てほしい。(堰の検定がまだなので流量は計算できていない)

どちらの地点も最初の数時間は雨に比べて流出は遅れて流出しているのがわかる。皆伐地点では土砂流入があったため、水位の低減が降雨後も見られないので、残念ながら途中までしか流量データとしての信頼性はない。

皆伐が予定されている地点ではデータが取得できている。小さな流域においても、降雨初期はほとんど流出せず、降雨狩猟後ゆっくり水が出てきているのが観察された。

## 南稜高校雨庭

**大きさ**  
広さ15.3㎡ (3.4m×4.5m)  
深さ0.2m

**集水範囲**  
校舎の屋根17.27㎡に降った  
雨を雨どいから集める

**工事期間**  
2日

**費用 (予定)**  
約5~10万円 (重機使用な  
し、植栽・石材費用のみ)



南稜高校の雨庭もオーバーフローしました。

集水面積に比較して、大きな雨庭ですが、今回の大雨でオーバーフローしました。

詳細については追って報告します。

### 市房ダム緊急放流

市房ダムで緊急放流がありました。19日の午前3時から、午前5時6分まで2時間程度の緊急放流でした。放流開始時間を当初予定より1時間程度遅らせたため、多良木の観測所の水位が氾濫危険水位を超えなかったと報道されました。下流の方は大変心配されたことと思います。氾濫が発生しなかったのがよかったです。

### 編集後記

台風14号は非常に大きな台風でしたが、幸い人吉球磨地方では大きな被害にならなかったのがほっとしました。しかしながら、被害にあわれている方もいらっしゃいますので心が痛みます。宮崎県ではいろいろなところで被害が出ており、心配されます。

拠点としては、初めての大雨ということ、今年の初めに設置した観測施設がうまく稼働するのか？ 神瀬に設置したカメラは動いたのか？などいろいろと心配しましたが、完全とは言えないものの貴重なデータが取れたり、課題が見つかりました。

南稜高校の演習林について今回触れていませんが、連続的な樹幹流データが熊本大学の大内君の尽力により採取できました。

最新の情報が含まれることから、著作権にはご注意ください。コピー不可のものは再利用できません。

研究途中なので見解や情報の修正が行われることがあります。

緑の流域治水の「緑」と「流」をくっつけて Midoryu, Midoryu ニュースをお届けします。

このニュースは「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点のプロジェクトリーダーである島谷が私的に伝えるニュースです。時間があるときや、何か面白いことがあった時、何か思いついたときに不定期に発行します。次回が出るかは不明です。

発行人 島谷幸宏